



がんばりが咲き 輝いた日 諸塚小の運動会

子どもたちが全力で取り組む姿があふれる一日となりました。友達と力を合わせて活動する姿、体全体を使って表現する姿など、学年ごとに成長の跡が感じられました。高学年の責任感、中学年の粘り強さ、低学年の元気いっぱいの姿が会場に広がり、温かな声援と笑顔が校庭を包みました。保護者の皆様にも、準備や応援など多方面でご協力を賜り、心より感謝申し上げます。澄み渡る諸塚の空の下、子どもたちは最後まであきらめずにやり遂げる喜びを胸に刻んだことでしょう。この経験や自信が、今後の学びや生活の糧となることを期待しています。



5・6年生の一言感想 運動会

ふりかえりや
成長したところ

- 競技で最後まであきらめずにがんばることができた。
- 神楽を大きな動きで踊ることができた。
- リレーで全力を出していっしうけんめい走った。
- 団技やリレーで同じ団の人と協力することができた。
- 仲間への声をかけることができたところが成長。
- 低学年のお世話をしっかりすることができた。
- 自分で考えたことを大きな声で伝える力が付いた。

これから

- 何にでも自信を持っていきたい。
- いつでもみんなと協力したい。
- 応援で大きな声が出せたのであいさつや返事を大きくしたい。
- どんなことがあってもあきらめないようにしたい。
- 6年生としてみんなをまとめられるようにしたい。
- 困っている人を助けることもしたい。
- 最後まで全力でやりぬきたい。

誕生日給食会

「諸塚小だからできること」と、毎月1回、その月の誕生日の子ども達と校長室で給食の時間を過ごしています。

子ども達とも、たくさんの話ができ、楽しむ時間となっています。

給食会の後、お昼の放送で、その月の誕生日の子どもと先生の紹介をします。その話の中で子ども達へ伝えた話です。

「子どもの誕生日には、『生まれてきてくれて、ありがとうございます』と思います。そして、自分の誕生日は、自分のお母さんに『産んでくれてありがとうございます』家族に『育ててくれてありがとうございます』と感謝する

日です。」私自身。実際は、なかなか照れくさいもので、ようやく半ば冗談混じりに「私のようなこんな良い子を産んで育ててくれてありがとうございます。」くらいは言えるようになりました。家族で過ごされるお子さんの誕生日、ご自身の誕生日、どうぞ素敵なお1日に。

「へき地校こそ教育の原点」～九州地区へき地教育研究大会鹿児島大会に参加して～

諸塚小のめざす子ども像に「もうつかを愛する子ども」があります。大会の中で「かつて『へき地』を劣勢とした時代があったが、今は都市とは違う価値観に基づく『豊かさ』『楽しさ』『やりがい』等を生み出させてきている」というものがありました。諸塚小の強みの一つは、学校と地域が一体となって子ども達一人一人と向き合い、きめ細やかな指導や地域と深く結びついた教育活動が実践できている事です。このことに加えICTを取り入れることで学びの幅も広がっています。今後も、ふるさとへの誇りと愛着をもち、未来を切り拓いていくもうっこを育てていきたいと考えた所です。



七ツ山太鼓【ふれあいフェスタにて】